



カーボンフットプリント(CFP)

CFP宣言

登録番号：JR-AR-24007C

SuMPO環境ラベルプログラム

一般社団法人サステナブル経営推進機構

東京都千代田区内神田1-14-8

KANDA SQUARE GATE

https://ecoleaf-label.jp

富士フイルム株式会社
FUJIFILM Corporation

Digital Thermal Plate

<現像工程あり/中国製> 米国向け

Digital Thermal Plate

<Processing required with the solution/
Made in China> for the US

FUJIFILM
SUPERIA
Digital Thermal Plate



算定単位

平米(m²)あたり、代表厚み0.24mm

算定対象段階

■最終財 中間財

原材料調達段階、製造段階、輸送段階、
使用段階、廃棄・リサイクル段階

製品の型式、主要仕様・諸元

型式：次頁参照

(代表品種：SUPERIA LH-PLE 等)

対象：平版印刷用PS版のうち、画像形成方法を
「Thermal露光機を使用する製品群」で、
現像処理工程を有する版

主な製品構成

支持体：アルミニウム新地金に再生地金約22.4%使用
厚みの範囲：0.15~0.40mm

感光層：支持体に負荷した全ての材料を機能性樹脂とする

個装包装：外箱、内包装材料合紙

現像処理：使用時の処理液使用あり、標準処理条件

登録番号

JR-AR-24007C

適用PCR番号

PA-937192-AR-05

PCR名

平版印刷用PS版

公開日

2024年5月17日

検証合格日

2024年4月12日

検証方式

個品別検証方式

検証番号

JV-AR-24007

検証有効期間

2029年4月11日

PCRLレビューの実施

認定日等 2023年5月10日

委員長 神崎 昌之

一般社団法人サステナブル経営推進機構

第三者検証者*

外部検証員 阿藤 崇浩

ISO/TS14067に従った本宣言及びデータの独立した検証

内部

外部

*システム認証を受けた事業者内の検証の場合は、システム認証を行った審査員の名前を記載。

問い合わせ先

富士フイルム株式会社

■製品・環境に関するお問い合わせ

富士フイルム(株) グラフィックコミュニケーション事業部

TEL (03)6271-3961

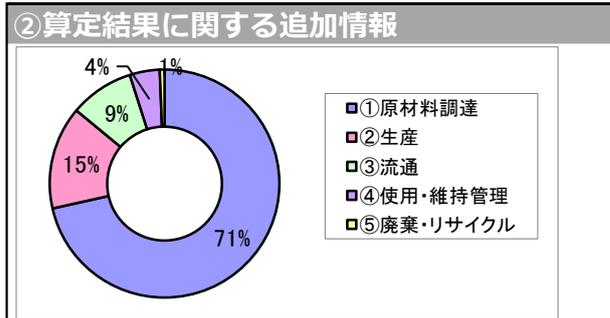
登録番号：JR-AR-24007C



①CFP算定結果		
算定単位 平米(m ²)あたり、代表厚み0.24mm		
項目	数値	単位
CFP算定結果		
	7.3	kg-CO₂eq
内訳	①原材料調達	5.2 kg-CO ₂ eq
	②生産	1.1 kg-CO ₂ eq
	③流通	0.66 kg-CO ₂ eq
	④使用・維持管理	0.3 kg-CO ₂ eq
	⑤廃棄・リサイクル	0.05 kg-CO ₂ eq
数値表示	7.3	kg-CO₂eq
表示単位：	平米(m ²)あたり、代表厚み0.24mm	

※端数処理により、CFP算定結果と内訳の合計値は若干異なる場合があります。

③その他の環境関連情報	
ISO9001およびISO14001認証取得工場生産しています。	
-GB/T 19001-2016/ISO 9001:2015 02023Q2110R5M ZDHY	
-GB/T 24001-2016/ISO 14001:2015 02023E1345R3M ZDHY	



CFP算定結果は、厚み0.24mmの場合です。厚み違いのCFP値は表1を参照して下さい。

表1

厚み (mm)	CO ₂ eq (kg/m ²)
0.15	5.2
0.20	6.4
0.24	7.3
0.30	8.7
0.40	11.0

※製品群：Digital Photopolymer Plate Digital Photopolymer Plateの категорияに入る表2の製品は、製造工程はすべて同一方法によっています。また、プレートの使用工程における、赤外線レーザー露光も同一方法です。各製品の違いは、感光層のフェノール樹脂の構成成分のわずかな違い(割合)ですが、算出原単位としては、「フェノール樹脂」を用いるため(PCR参照)CFP値は同一となります。

表2

製品名
SUPERIA LH-PA
SUPERIA LH-PJA
SUPERIA LH-PK
SUPERIA LH-PLA
SUPERIA LH-PLE
SUPERIA XP-L

④CFP算定結果の解釈	
●代表値 厚み0.24mm、平米(m ²)あたりで、原材料に「再生アルミを22.4%使用」した時のCFP値です。	
●原材料段階のCO ₂ eq排出量が、ライフサイクル全体の約71%と最も多い結果となりました。	
これは、主原材料のアルミの生産に起因するため、再生アルミ利用によるCO ₂ eq排出量削減が非常に重要な要素と言えます。*1	
*1 再生アルミを使用したことで全量アルミ新地金(CFP値14kg-CO ₂ eq/m ²)を使う時に比べ約48%のCO ₂ eq排出量の削減ができました。	
●なお、原材料の使用量と製品製造負荷は弊社データ、新地金アルミ製造時のデータはサプライヤーの一次データを使用していますが、その他は一般的な値を利用しているため、この結果は概算値としてご理解ください。	

⑤使用した二次データの考え方	
IDEA ver.3.1.0を使用した。	

⑥備考	
-	

- データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。
- 比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。
(参照先URL：<https://ecoleaf-label.jp/regulation/>)
- 製品の提供により生じる気候変動以外のその他の潜在的な社会的／経済的／環境的影響の評価は行っていません。